

一般質問



阿部 憲一 議員

子どもを守るを誓えるか

町長／子供を守る教育委員会の職務に従事する

阿部 広野町は空間線量率や土壌汚染濃度の点でチェルノブイリ法が定める絶対立入禁止の第1ゾーンである。原発事故から2週間後の時点で、空間線量率で毎時0.229μSv以上、土壌汚染濃度で110万Bq/m以上がそれに相当する。環境省が言う年間追加被曝線量1mSvは、ヨーロッパでは5mSv以上になる。あちらではその2段下の第3ゾーンの地域でさえ大勢の健康被害や死者を出している。数値の僅かの上昇

で大勢が亡くなっている事実を認識するべきだ。①この土地で学校教育が問題なくできるこのことなら、チェルノブイリ法で見た現実、県内の小児甲状腺癌の事実、空間線量率の異常値の現実について、否定できる根拠を一つ一つ示されたい。

阿部 町は1億7千万円余りも負担させられ、何らメリットはない。後でヒモを引いている存在が想像されます。①町長は「JRより話が来た」と聞いています」と述べたが、詳しい説明を求めます。②新駅は双葉郡の復興のためと言うが、復興とは広野町よりも汚染レベルの高い土地に住

まいと受け止めていません。県内の小児甲状腺癌の事実については原発事故とは関係がなくスクリーニング効果とされています。空間線量率の異常値については機器の不具合と判断しています。②教育委員会は緊急の事態が生じた場合、子供の安全を確保する義務があり、教育長はその職務を総理し、代表する職務に従事するものと認識しています。

町長 ①Jヴィレッジは復興に重要な施設で、双葉郡八町村は震災前以上の集客等のための交通アクセス強化として新駅設置を県へ要望し、県と町村会の連名でJR東日本へ要望して覚書等を締結しました。②ふるさと広野で安心して暮らしているよう「医」、「職」、「住」の充実を重視し、町民の声を真摯に受け止め、町政運営に反映させ各種施策を進めていきます。

放射線対策

②子供の放射線防護は予防原則で判断・行動すべきだが、これを守ると誓えますか。

教育長 ①チェルノブイリ法で見た現実については県や町による測定や調査により放射線障害は少

ない」と受け止めていません。県内の小児甲状腺癌の事実については原発事故とは関係がなくスクリーニング効果とされています。空間線量率の異常値については機器の不具合と判断しています。②教育委員会は緊急の事態が生じた場合、子供の安全を確保する義務があり、教育長はその職務を総理し、代表する職務に従事するものと認識しています。

避難者支援

差別扱いせず平等に扱うべき

町長／以前も、今後も差別することはない

阿部 町長は避難など最も苦しい状況にある町民にさえ何もしようと思いません。国に対して国連人権理事会からは避難者への支援が必要だとする勧告が出されています。あらためて施策上町民を差別するのをお答え頂きたい。

町長 町政全般の政策推進のなかで事業を展開しておりますが、以前も、今後も差別扱いすることはありません。

参加者へのおもてなしを

町長／連携を図りながら取り組んでいく

塩 1月、太平洋に面した素晴らしい真新しい道路を全面に、マラソン大会が行われました。一番寒い時で、暖かい飲み物等を提供してほしかったという意見が多く聞かれました。町の4大イベントとして交流人口の増を図るとすれば、何か暖かい物をふるまうことが出来ないかどうか考えを伺います。

町長 昨年の大会は、豚汁の無料提供を行いました。が、今大会は、地域活性化のため、地元事業所との連携を図り、地元商店による温かい飲食物の販売を実施し、町は、飲料水やバナナを無料で提供しました。交流人口の拡大、地域の活性化に向け、関係機関と連携を図りながら取り組んでいきます。

ふる里ふれあいマラソン



ふる里ふれあいマラソン

無料提供を行いました。が、今大会は、地域活性化のため、地元事業所との連携を図り、地元商店による温かい飲食物の販売を実施し、町は、飲料水やバナナを無料で提供しました。交流人口の拡大、地域の活性化に向け、関係機関と連携を図りながら取り組んでいきます。

非常に残念な出来事です。が、土ヶ目木地区において発生した住宅火災では母屋を全焼という結果になってしまいました。したが、住民に何事もなかったのが唯一の幸いであります。

塩 非常に残念な出来事です。が、土ヶ目木地区において発生した住宅火災では母屋を全焼という結果になってしまいました。したが、住民に何事もなかったのが唯一の幸いであります。

用意すべきと考えますが、町長の考えをお聞きます。

町長 火災等により住宅を失った方が住宅を再建するまで、苗代替団地に住宅を確保しています。この住宅は、一階に和室1部屋、台所、浴室、トイレ、二階に和室2部屋ありますが、世帯の状況に応じ、他の町営住宅も含めて検討します。

被災者支援

見合った住居を用意せよ

町長／世帯の状況に応じた町営住宅を検討

住宅火災等で被災された住人が住む、町で用意している住居が現状に合っていないのではないかと思われる場合があります。

他に見合った住居を

経緯を明らかにせよ

町長／双葉郡八町村として要望

①Jヴィレッジは復興に重要な施設で、双葉郡八町村は震災前以上の集客等のための交通アクセス強化として新駅設置を県へ要望し、県と町村会の連名でJR東日本へ要望して覚書等を締結しました。②ふるさと広野で安心して暮らしているよう「医」、「職」、「住」の充実を重視し、町民の声を真摯に受け止め、町政運営に反映させ各種施策を進めていきます。

Jヴィレッジ新駅